ゴルフエッセー「耳と耳のあいだ」(第44回)

決断なくして結果なし！決断力を上げる4つの法則

2019.03.22



ビジネスには決断が付き物です。ビジネスパーソン、しかもリーダーなら特に、決断する力＝「決断力」はとても重要なスキルです。決断力がないと、部下への指示が曖昧になり、部門全体が、はたまた会社全体がうまく機能しなくなるからです。

自分は決断が遅く、優柔不断、人の意見に振り回されてしまう……と、決断力にイマイチ自信のない人は少なくないのでは？そんな人はゴルフで決断力を強化しませんか。ゴルフでも、決断力は不可欠です。決断の曖昧なままのショットはミスをする確率が高くなります。今回は、ゴルフにおける「決断」についてお話ししましょう。

ナイスショットを生み出す4つのステップ

ゴルフは、スコア100切りをめざす人も、70台をめざす人も、1打1打の積み重ねです。1打1打、次の4つのステップがあります。

ステップ1:情報収集する
ステップ2:イメージする
ステップ3:決断する
ステップ4:実行する

この流れは、ティーショットからパッティングまで、すべてのショットにおいて共通します。中でも重要なのが、ステップ3の「決断」です。実際のプレーを例に考えてみましょう。

あなたはティーショットをフェアウェイの真ん中に運び、セカンドショットでグリーンオンを狙うことになりました。グリーン右手前には大きな池があります。そして今日はピンがグリーンの右側に切ってあります。ピンを直接狙うと、池に入るリスクが高まります。さてどう攻めますか……。

まずやることが、ステップ1の「情報収集」です。すでに説明したグリーン周辺の状況だけでなく、正確な残りの距離、現在地とグリーンまでの高低差、ボールのライ(状態)、風の向き、強さなど、どう攻めるかを決めるために必要な情報を収集します。

次にやることは、ステップ2の「イメージ」です。ピンをデッドに狙うのか？池を避けてグリーンの左側を狙っていくのか？あるいは、あえてグリーンを狙わず安全な場所にレイアップ(距離を抑えて安全な所に運ぶこと)するのか？それを何番のクラブで打つのか？得られた情報を基に考えられるさまざまな攻め方をイメージします。

そしてイメージした幾つかの選択肢の中から、ベストと思える方法を選択します。これがステップ3の「決断」です。ここで決断した後、実際にボールを打つのが、ステップ4の「実行」となります。ステップ3で、きちんと「決断」できず、「もう1つ上の番手

のクラブがよかったかな」とか、「もっと左を狙うのが無難かな……」など、余計なことが頭に浮かんだまま実行に移ると、ミスにつながる可能性が膨らみます。決断したら、成功をイメージして集中しなければなりません。

決断とは「決めて断つ」こと… 続きを読む